

2008年9月29日

日本銀行

短期金融市場における調達圧力の高まりへの更なる協調対応策

本日、10か国の中央銀行は、短期金融市場における資金調達圧力の持続的な高まりに対処するため、米ドルの流動性供給能力を大幅に拡充するための更なる協調策を公表した。各国中央銀行は、引き続き密接に協調し、資金調達圧力に対処するために、必要に応じて適切な手段を講じる用意がある。

日本銀行の措置

日本銀行は、本日、臨時金融政策決定会合を開催し、米ドルに係る流動性逼迫のわが国短期金融市場に及ぼす影響が一段と強まっていることを踏まえ、米ドル資金供給体制をさらに整備するための措置をとることを決定した。具体的には、米国連邦準備制度との米ドル・スワップ取極の引出限度額を600億ドルから1,200億ドルへ増額すると共に、米ドル資金供給オペレーションの期限を延長し、来年4月末までとすることを決定した。また、同オペレーションの対象先を拡充することとした。日本銀行としては、今後とも海外中央銀行と緊密に協力しつつ、適切な金融市場調節の実施を通じて、金融市場の安定確保に努めていく方針である。

各国中央銀行の措置

各国中央銀行の措置については、下記ウェブサイト参照。

カナダ銀行	http://www.bankofcanada.ca
イングランド銀行	http://www.bankofengland.co.uk
デンマーク国民銀行	http://nationalbanken.dk
欧州中央銀行	http://www.ecb.int
米国連邦準備制度	http://www.federalreserve.gov
ノルウェー銀行	http://www.norges-bank.no
オーストラリア準備銀行	http://rba.gov.au
スウェーデン中央銀行	http://www.riksbank.se
スイス国民銀行	http://www.snb.ch

以 上